

漢字で書けるようにしておくこと。ただし、※印のところは、ひらがなでも正解にします。

1	前方後円墳 <small>ぜんぽうこうえんふん</small>	22	法興寺 <small>ほうこうじ</small>	43	645
2	大仙(大山) <small>だいせん だいせん</small>	23	法隆寺 <small>ほうりゅうじ</small>	44	中臣鎌足 <small>なかとみのかまたり</small>
3	稻荷山 <small>いなりやま</small>	24	釈迦三尊像※ <small>しゃかさんぞんぞう</small>	45	大化の改新 <small>たいか かいしん</small>
4	仁徳 <small>にんとく</small>	25	飛鳥文化 <small>あすか</small>	46	公地公民制 <small>こうちこうみんのせい</small>
5	埴輪 <small>はにわ</small>	26	593	47	班田収授法 <small>はんでんしゅうじゅのほう</small>
6	大王 <small>おおきみ</small>	27	摂政 <small>せつしょう</small>	48	口分田 <small>くぶんでん</small>
7	氏 <small>うじ</small>	28	蘇我馬子 <small>そがのうまこ</small>	49	663
8	臣 <small>おみ</small>	29	603	50	白村江の戦い <small>はくすんこウ</small>
9	連 <small>むらじ</small>	30	冠位十二階 <small>かんいじゅうにかい</small>	51	防人 <small>さきもり</small>
10	氏姓制度 <small>しせいせいど</small>	31	紫	52	大津 <small>おおつ</small>
11	伽耶諸国(加羅)※ <small>かや カラ</small>	32	604	53	天智天皇 <small>てんじてんのう</small>
12	宋書倭国伝 <small>そうじょ わ こくでん</small>	33	憲法十七条 <small>けんぽう じょう</small>	54	672
13	百済 <small>ペクチェ</small>	34	日本書紀 <small>しよき</small>	55	天武天皇 <small>てんむ</small>
14	好太王 <small>こうたいおう</small>	35	仏教 <small>ぶつきょう</small>	56	694
15	武 <small>ぶ</small>	36	607	57	持統天皇 <small>じとう</small>
16	渡来人 <small>とらいじん</small>	37	小野妹子 <small>おののいもこ</small>	58	富本銭 <small>ふほんせん</small>
17	のぼりがま	38	隋 <small>ずい</small>	59	白鳳文化※ <small>はくほう</small>
18	すえ器 <small>き</small>	39	隋書倭国伝 <small>ずいしよわこくでん</small>	60	高松塚 <small>たかまつづか</small>
19	仏教 <small>ぶつきょう</small>	40	630	61	法隆寺 <small>ほうりゅうじ</small>
20	蘇我氏 <small>そが</small>	41	犬上御田鍬※ <small>いぬがみの み たすき</small>	62	薬師寺 <small>やくしじ</small>
21	四天王寺 <small>してんのうじ</small>	42	唐 <small>とう</small>		

記述1 古墳をつくらせた人物が強大な力をもっていたことを示すため。

記述2 古墳の周りや頂上。

記述3 朝鮮のすぐれた技術や、鉄などの資源を手に入れること。

記述4 この時代の和政権の勢力が、九州地方から関東地方にまでのびていたこと。

記述5 渡来人らによって、当時の日本と朝鮮との交流がさかんに行われていたこと。

記述6 豪族たちの勢力争いが多く、まとまりがなかった。

漢字で書けるようにしておくこと。ただし、※印のところは、ひらがなでも正解にします。

記述7 天皇がすべての権力をにぎる中央集権国家を目指した。

記述8 日本が、中国の家来であった今までの関係から、日本が対等な立場で国交を開こうとしたため。

記述9 蘇我氏のカが強く、天皇をしのぐまでになったことが天皇中心の政治のさまたげになったため。